

## 会員研究発表リスト - 2006年4月～2007年3月 -

池田 宏一郎 教授

- (論文) 「モデル理論のランダムグラフへの応用」京都大学数理解析研究所『京都大学数理解析研究所講究録』525 (2006), pp.5-14.
- (論文) “Model Theory and Zero-One Laws”, Josai University, Mathematical Bulletin of the Graduate School of Science, No.9 (2006), pp.55-66.
- (論文) “A note on stability spectrum of generic structures”, Kyoto University, Kokuroku of Research Institute for Mathematical Sciences, No.1555 (2007), 掲載予定.
- (研究発表) 「Hrushovski の構成法」, 「数学基礎論とその応用」研究集会 (京都大学数理解析研究所), 2006年 5月.
- (研究発表) 「Generic グラフとランダムグラフ」モデル理論サマースクール 2006 (東海大学代々木校舎), 2006年 8月.
- (学会報告, 共同研究) 「加法的局所次元と強い融合性」日本数学会 (大阪市立大学), 2006年 9月.
- (学会報告) 「Generic グラフとランダムグラフ」日本数学会 (大阪市立大学), 2006年 9月.
- (研究発表) 「Generic 構成法の Convergence Law への応用」RIMS 研究集会「モデル理論における独立概念と次元」(京都大学数理解析研究所), 2006年11月.

稲上 毅 教授

- (論文) 「欧米労働組合の試練と対応 - 新しい運動思想の探索」UI ゼンセン同盟『UI ゼンセンコンパス』第56巻 5・6月号, pp.18-44, 2006年 5月.
- (論文) 「外資系企業の経営と雇用慣行」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第 2号, pp.99-119, 2006年 7月.
- (論文) 「ポスト工業化・経営戦略・人的資源管理」『日本労務学会第36回全国大会研究報告論集 - ポスト工業化と人事労務の変革』(愛知学院大学), pp.1-12, 2006年 7月28日～30日.
- (その他) 「これからの日本の経営と労使関係を考えるのが組合にとっての CSR だ」『連合』No.223 (2006年11月号), pp.6-8.
- (その他) 「CSR と労働組合」『連合総研レポート』No.212, pp.7-8, 2007年 1月 1日.
- (その他) 「ドーア教授の問題提起に対して、私はこう考える - 社会学者・稲上毅の視点」『連合』No.225 (2007年 1月号), pp.10-11.
- (その他) 「『成長力底上げ戦略』のために」(pp:11)「成長力底上げ戦略構想」チーム有識者ヒアリング (首相官邸), 2007年 2月13日.

宇田川 勝 教授

- (講演) 「春光会の生い立ちと発展」春光懇話会 (春光会館), 2006年 4月11日.
- (資料) 「鮎川義介 回想と抱負 (稿本 5)」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第 1号, 2006年 4月.
- (コラム) 「春光・伊藤文吉」春光懇話会『Wave 21』No.166, 2006年 5月.
- (講演) 「明治期財閥形成者の起業家精神」法政大学創立者薩? 正那生誕150周年記念連続講演会 (法政大学イノベーション・マネジメント研究センター), 2006年 6月24日.
- (講演) 「三井財閥を改革した福沢門下生 - 中上川彦次郎と池田成彬 - 」慶應義塾福沢研究センター講演会「慶應義塾福沢研究センター」(三田演説館), 2006年 7月11日.

- (コラム) 「倉田主税の登場」春光懇話会 『Wave 21』 No.117, 2006年 8月.
- (ワーキング・ペーパー) 「財閥の改革者 - 結城豊太郎と池田成彬 - 」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 『ワーキングペーパー・シリーズ』 No.23, 2006年 1月.
- (コラム) 「惑星・久原房之助」春光懇話会 『Wave 21』 No.118, 2006年11月.
- (コラム) 「鮎川義介の中小企業育成活動」春光懇話会 『Wave 21』 No.119, 2007年 2月.
- (ワーキング・ペーパー, 共編) 「清原荘一郎 オーラル・ヒストリー」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 『ワーキングペーパー・シリーズ』 No.31, 2007年 3月

遠 田 雄 志 教授

- (エッセイ) 「改革の風景(2)」日本歯科医師会 『日歯連雑誌』 2006年 4月号.
- (エッセイ) 「改革の風景(3)」日本歯科医師会 『日歯連雑誌』 2006年 5月号.
- (インタビュー) 「タテ社会の功罪」YKK グループ 『ザ・ネイバー』 Vol.390, 2006年 8月.
- (研究ノート) 「改革とコミュニケーション」法政大学経営学会 『経営志林』 第43巻第 2号, 2006年 7月.

川喜多 喬 教授

- (共著) 『中小企業の人材育成作戦 - 創意工夫の成功事例に学べ』 同友館, 2006年 5月10日.
- (編著) 『女性のキャリア開発』 ナカニシヤ出版, 2006年11月10日.
- (著書) 『仕事と組織の寓話集 - フクロウの智慧 - 』 近代労働研究会, 2006年11月10日.
- (共著) 『キャリア支援と人材開発: 先進企業の挑戦』 経営書院, 2006年11月11日.
- (論文) 「キャリアデザイン支援重視型の人的資源管理」法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学専攻 『キャリアデザイン学研究調査報告 2006』 2006年 6月24日.
- (講演記録) 「今, なぜキャリア教育か - 新たな職業観を求めて」読売新聞社 『読売新聞(大阪版)』 2006年 4月 7日.
- (取材記録) 「中堅企業らしい経営者と現場の距離のない人材育成法」中央職業能力開発協会 『能力開発 21』 2006年 5月 1日.
- (取材記録) 「徹底した情報共有 全員参加の TQC 24年の伝統」中央職業能力開発協会 『能力開発 21』 2006年 6月 1日.
- (随想) 「世の中を「職場」に学ぶ」労働者学習センター 『ひろばユニオン』 2006年 8月 1日.
- (取材記録) 「「専門家集団」づくりに演習型教育と資格取得支援」中央職業能力開発協会 『能力開発 21』 2006年 9月 1日.
- (提言) 「労働力不足時代の再来, 人材育成の再生: 人材不足解決の極意とは」りそな一れ 『りそな総合研究所』 2006年10月 1日.
- (講演記録) 「キャリア支援は大学の基本的使命 - 法政大学と日本キャリア学会の経験からの報告 - 」独立行政法人日本学生支援機構中国支部 『平成18年度近畿・中国・四国地区就職指導担当職員研修会報告書』 2006年12月.
- (取材記録) 「経営者の自己変革で翔く女性を応援する」中央職業能力開発協会 『能力開発 21』 2007年 2月 1日.
- (講演記録) 「人材確保時代の復活: 2007年問題への対処法」福島県商工労働部労働領域労政グループ 『団塊世代の大量退職にどう立ち向かうかを考えるシンポジウム報告書』 2007年 3月.

金 容 度 准教授

- (著書) 『日本 IC 産業の発展史』 東京大学出版会, 2006年 6月.

- (論文)「液晶部材の産業組織と企業間取引」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第4号, 2007年1月.
- (論文)「高度成長期における自動車用鋼材の取引」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『イノベーション・マネジメント』No.4, 2007年3月.
- (論文)「東成エレクトロビーム株式会社」『中小企業における外部 CIO 機能事例調査報告書 - 中小企業の IT 利活用戦略と IT コーディネーター』2006年3月.
- (論文)「株式会社横山製作所」『中小企業における外部 CIO 機能事例調査報告書 - 中小企業の IT 利活用戦略と IT コーディネーター』2006年3月.
- (論文)「株式会社日進電装」『中小企業における外部 CIO 機能事例調査報告書 - 中小企業の IT 利活用戦略と IT コーディネーター』2006年3月.
- (論文, 共著)「ものづくりクラスターの特殊性と普遍性 - グローバリゼーションと知的高度化 - 」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第2号, 2006年7月.
- (ワーキングペーパー, 共著)「ものづくりクラスターの特殊性と普遍性 - グローバリゼーションと知的高度化」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパー・シリーズ』第16号, 2006年4月.
- (資料, 共著)「組織の中のアントレプレナーシップ 株式会社ルネサンスの斉藤敏一社長の事例 - 」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『イノベーション・マネジメント』No.3, 2006年3月.
- (報告)「液晶部材の企業間取引」『コンピュータ産業研究会』2006年9月21日(その記録は『赤門マネジメント・レビュー』第5巻第11号(2006年11月)に所収).

#### 倉田 俊彦 准教授

- (論文)“Some aspects of extensionality of arrows in cartesian closed category”, 京都大学数理解析研究所『京都大学数理解析研究所講究録』1533, 2007年2月.
- (学会発表)“Some aspects of extensionality of arrows in cartesian closed category”, 「RIMS 共同研究証明論研究集会」(京都大学数理解析研究所), 2006年8月.
- (学会発表)“Some aspects of extensionality of arrows in cartesian closed category”, Symbolic logic and computer science (東京大学), 2006年9月.
- (学会発表)“On extensionality of lambda-definable arrows in cartesian closed category”, 「日本数学会秋季総会分科会」(大阪市立大学), 2006年9月.

#### 児玉 靖司 教授

- (国際会議口頭発表)“Japanese Localization of Sakai: Implementation and Practice”, 法政大学 and e-Learning 学会, International Symposium on Recent Trends in Global E-Learning and Collaboration, 2007年3月.
- (国際会議口頭発表)“An Aspect-oriented Development in Sakai”, 法政大学 and e-Learning 学会, International Symposium on Recent Trends in Global E-Learning and Collaboration, 2007年3月.

#### 近能 善範 准教授

- (論文)「日本自動車産業における先行開発協業の深化: サプライヤー・システムにおける関係的技能の高度化とトヨタ系サプライヤーの優位性」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパーシリーズ』No.17, 2006年6月.
- (論文, 共著)「自動車部品産業における取引パターンの発展と変容 - 1次部品メーカーへのアンケート調査結果を中心に - 」東京大学ものづくり経営研究センター『ディスカッションペーパー』

2006-MMRC-85, 2006年 6月.

- (論文, 共著) 「ものづくりクラスターの特殊性と普遍性 グローバリゼーションと知的高度化」法政大学経営学会『経営志林』第43巻 2号, 2006年 7月.
- (論文) “Enhancement of the advanced R&D cooperation between automakers and suppliers in the Japanese automobile industry”, 21COE University of Tokyo MMRC Discussion Paper, No.116, 2006年 3月.
- (論文) 「日本自動車産業における先端技術開発協業の動向分析 - 自動車メーカー共同特許データの патентマップ分析 - 」『東京大学ものづくり経営研究センターディスカッションペーパー』2006-MMRC-151, 2006年 3月.

鈴木 武 教授

- (論文) 「連続確率変数を用いたエントロピー最大化によるベキ乗則の成立条件」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第 3号, 2006年10月.

竹内 淑恵 教授

- (査読論文) 「大衆薬における下位ブランド購買への推奨販売の効果 - 潜在成長曲線モデルの適応事例 - 」日本商業学会『流通研究』第 9巻第 1号, pp.1-15, 2006年 6月.
- (論文, 共著) 「消費者のエコロジー行動とコミュニケーションの方向性」日経広告研究所『日経広告研究所報』第230号, pp.18-24, 2006年12月 / 2007年 1月.
- (論文, 共著) 「有機野菜に対する消費者の価値構造 - 定量分析と定性分析の適用」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『イノベーション・マネジメント』No.4, pp.61-77, 2007年 3月31日.
- (著書, 共著) 「統合マーケティング・コミュニケーション戦略」有斐閣『現代のマーケティング戦略 消費者・コミュニケーション戦略』pp.155-178, 2006年 5月.
- (著書, 単著) 「コミュニケーション・デザイン」八千代出版『マーケティングの基礎と潮流』pp.137-159, 2007年 1月25日.
- (著書, 単著) 「ブランド・マーケティング」八千代出版『マーケティングの基礎と潮流』pp.219-240, 2007年 1月25日.
- (著書, 共著) 「有機野菜選択の背後にある理由 - 価値構造の分析 - 」農山漁村文化協会『有機農産物の流通とマーケティング』pp.244-257, 2007年 3月25日.
- (学会発表, 共同研究) 「広告音楽のタイプによるブランド・コミュニケーション効果の差異」日本広告学会関東部会, 2006年 4月15日.
- (学会発表, 共同研究) 「広告音楽によるブランド・コミュニケーション効果」日本消費者行動研究会, 2006年 6月17日.
- (学会発表, 共同研究) 「CM 評価を加味した広告効果分析」日本マーケティング・サイエンス学会, 2006年 6月25日.
- (学会発表, 共同研究) 「CM 評価を加味した広告効果分析 - 全体モデルへの発展 - 」日本マーケティング・サイエンス学会, 2006年11月26日.

田路 則子 准教授

- (論文, 共著) 「ネットワーク・マーケティング組織における会員の活動促進メカニズム」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第 4号, 2007年 1月.
- (研究ノート) 「半導体産業におけるミドルエンジニアの役割とキャリア志向性」Global Business

- Research Center 『赤門マネジメント・レビュー』第5巻12号, 2006年12月.  
 (報告書) 「モジュール化の進展におけるサプライヤーの製品開発」(財)機械振興協会 経済研究所『機械工業経済研究報告書』H18-5, 2007年 3月.  
 (書評) 「書評: MBA のためのビジネスプランニング」日本マーケティング協会『マーケティングジャーナル』第26巻第2号, 2006年 9月.  
 (口頭発表, 共著) “Comparisons between career orientations of R & D professionals in Japan and the United States”; Aisa Academy of management Conference, Tokyo, 2006年12月.  
 (口頭発表, 共著) “The growth model of Japanese high tech start-ups” Babson Entrepreneurship Research Conference, USA, 2006年 6月.

西川 真規子 教授

- (論文, 共著) “Gendering the Knowledge Economy Sylvia Walby・Heidi Gottfried・Karin Gottshal・Mari Osawa (eds.)”; Palgrave, pp.209-229, 2006年10月.  
 (報告書, 共著) 「介護休業の利用拡大に向けて - 「介護休業制度の利用状況等に関する研究」報告書 - 」日本労働研究機構『労働政策研究報告書』pp.117-138, 2006年10月.  
 (書評) “Togo Sareru Danio no Shokuba (Gender Integration in the Workplace) (Shuto Wakana)”; 東京大学社会科学研究所, Social Science Japan Journal Vol.9, No.1, pp.152-155, 2006年 4月.  
 (発表) “Elderly Care and Gender in the Knowledge Society - An International Comparison of Japan, Germany and the U.S: Research Method Explanation”; Globalization, Gender & Work Transformation meeting at Montreal, 2006年 8月.

入戸野 健 教授

- (学会発表) “Computational aspects of sequential Monte Carlo approach to image restoration”; International Association for Statistical Computing 『Compstat 2006』2006年 8月.

平田 英明 准教授

- (論文) 「デフォルト確率モデル再訪」『日本経済研究』第56巻, 2007年 3月.  
 (論文) 「日本経済のダウンサイドリスク」『日本金融研究』第16巻, 2007年 3月.  
 (論文) “Sources of Fluctuations.” Emerging Markets Finance and Trade, 43-1, 2003年 1月.  
 (著書, 分担執筆) 「モンテカルロ法, ブートストラップ法, カリブレーション法」朝倉書店, 蓑谷・和合・縄田編『計量経済学ハンドブック』近刊.  
 (学会発表) “The Role of Energy Prices in Explaining Tapanese Business Cydes.”; 日本経済学会2006年秋季大会, 2006年10月.  
 (報告書) 『日本経済のダウンサイドリスク』日本経済研究センター, 2007年 3月.  
 (報告書) 『ゼロ金利解除後の個人向け貸出市場』日本経済研究センター, 2006年10月.

福田 淳児 教授

- (論文) 「管理会計担当者の役割と組織業績への貢献の知覚」日本会計研究学会『会計プロGRESS』第7号, 2006年 9月.

松島 茂 教授

- (論文) 「地域経済の「頑健さ」と中小企業」中小企業リサーチセンター, 樋口美雄・竹内英二・国民生活金融公庫総合研究所編『マイクロビジネス入門』pp.91-101, 2006年 6月.

- (論文, 共著) 「ものづくりクラスターの特殊性と普遍性 グローバリゼーションと知的高度化」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第2号 pp.73-97, 2006年7月.
- (論文) “Japanese SMEs - Driving the Competitiveness of Japan's Automobile Industry”, Japan Spotlight May/June 2006, pp.6-9.
- (論文) 「ものづくり拠点の再生と国際企業」(社)日本ニュービジネス協議会連合会 JNB 総合研究所『新時代の革新企業』pp.20-23, 2006年6月.
- (論文) 「技術の相互作用と技術深化 「世界一」を支えるモノ作り中小企業: 浅沼技研のケース」『精密工学会誌』第73巻第1号, pp.44-47, 2007年1月.
- (パネル報告) 「戦後日本における生産システムと産業地域」経営史学会全国大会『経営史学』第41巻第4号, pp.40-46.
- (論説) 「時代の節目」にあって方向を指し示す中小企業」(財)経済産業調査会『経済産業ジャーナル』No.422, 2006年6月.
- (論説) 「日本の強さを支える “頑健な” 地域経済に着目せよ」プレジデント社『プレジデント』2006年8月14日号.
- (論説) 「事業承継問題の本質」銀行研修社『ターンアラウンドマネージャー』2006年12月号.
- (論説) 「「まちづくり」という視角」『NIRA 政策レビュー』第11号, 2007年1月.
- (書評) 「石原武政著『小売業の外部性とまちづくり』」有斐閣『書齋の窓』第557号, 2006年9月.
- (選評) 「優秀社史賞候補作品選評『月島機械百年の経営』『月島機械百年の技術』」日本経営史研究所『第15回優秀社史賞選考委員会報告書』2006年10月.
- (オーラル・ヒストリー, 御厨貴・中村尚史とともにインタビュアーとして参加) 「流通科学大学編『中内功回想録』(流通科学大学), 2006年9月.
- (ワーキング・ペーパー, 共編) 「松島茂・尾高煌之助編『石丸典生オーラル・ヒストリー』」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキング・ペーパー・シリーズ』第20号, 2006年9月.
- (オーラル・ヒストリー, 尾高煌之助・中田哲雄・武田晴人・宮本武史とともにインタビュアーとして参加) 「(独)経済産業研究所『通商産業政策史編纂事業に関する予備的調査研究フェーズ2報告書 歴代通商産業事務次官ヒヤリング取りまとめ』」2006年11月.
- (ワーキング・ペーパー, 共編) 「松島茂・尾高煌之助編『熊本祐三オーラル・ヒストリー』」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキング・ペーパー・シリーズ』第27号, 2007年2月.
- (資料) 「企業家のビジョン - 昭芝製作所社長三原佑介氏の事例」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第4号, 2007年3月.
- (コメント) 「板垣暁「1960年代における自動車安全問題に対する運輸省の規制政策」へのコメント」経営史学会関東部会5月例会(日本大学経済学部7号館)2006年5月20日.
- (コメント) 「Arun Muthirulan “Promoting Business Start-ups - The Cambridge Experience” へのコメント」法政大学地域研究センター主催第4回国際シンポジウム(法政大学スカイホール)2007年2月26日.
- (報告) 「中小企業のIT活用戦略とITコーディネーター」独立行政法人経済産業研究所 BBL(経済産業研究所会議室)2006年5月31日.
- (報告) 「小規模企業政策の変遷」スモールビジネス研究会(東京大学社会科学研究所)2006年7月24日.
- (報告) 「多層的サプライヤー・システムと企業家活動」大阪大学経済史・経営史研究会(大阪大学法経大学院総合研究棟7階大会議室)2006年6月27日.

- (報告)「多層的サプライヤー・システムの形成と企業家活動 自動車産業における金属プレス部品の二次サプライヤーを中心に」2006年度経営史学会全国大会パネル「戦後日本における生産システムと産業地域」における報告(一橋大学)2006年11月26日.
- (報告)「寧波の産業集積」青山学院大学経済学部研究会(青山学院大学 8号館 6階会議室)2007年 1月31日.
- (報告)「中小企業創業者のオーラル・ヒストリー 町工場から開発能力をもつ二次サプライヤーへの発展過程」関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科シンポジウム『現代企業家の戦略的役割』(関西学院大学梅田キャンパス)2007年 3月11日.
- (講演録)「中国企業の経営戦略と産業集積 寧波における金型産業の集積を中心に」同志社大学人文科学研究所,同志社大学人文研究所ブックレット No.24『中国における産業集積のダイナミズム』pp.45-79(第58回公開講演会)2007年 3月.
- (講演録)「事業承継問題へのアプローチ」中小企業金融公庫経情参考資料 No.147(中小企業金融公庫本店)2006年11月 1日.
- (モデレーター)「パネルディスカッション「事業承継ガイドラインの活用」のモデレーター」(独)中小企業基盤整備機構主催『事業承継シンポジウム 中小企業の事業承継円滑化に向けて「事業承継ガイドライン」の活用』ヤマハホール,2006年 6月23日.
- (コーディネーター)「パネルディスカッション「地域の活性化と地域資源」のコーディネーター」経済産業省中部経済産業局・(独)中小企業基盤整備機構中部支部・中日新聞社主催『地域中小企業サポーターズサミット in 中部』名古屋キャッスルプラザ 4階「鳳凰の間」2007年 3月 9日.
- (審議会答申)中小企業政策審議会経営支援部会報告「地域経済環境の構造変化の進展を踏まえた中小企業支援策の在り方について」(2007年 2月)の取りまとめに同部会地域中小企業小委員会委員長として参画.
- (報告書)事業承継協議会ガイドライン検討委員会報告「事業承継ガイドライン～中小企業の円滑な事業承継のための手引き～」(2006年 6月)の取りまとめに委員長として参画.
- (報告書)事業承継協議会事業承継将来像検討委員会報告「事業承継将来像検討委員会中間報告」(2006年10月)の取りまとめに委員長として参画.
- (報告書)東京商工会議所「商業活性化すみだプログラム」(2006年12月)の取りまとめに商業活性化すみだプログラム戦略会議委員長として参画.

#### 原 征 士 教授

- (論文)「「わが国職業的会計士法制」の展開 - 資格試験制度を中心として - 」日本会計史学会『会計史学会年報』第24号,2006年 3月.
- (著書)『株式会社監査論(第4版)』白桃書房,2007年 3月.

#### 洞 口 治 夫 教授

- (学会コメント)「大石芳裕(明治大学)「主観的多国籍企業理論 - 絶対劣位化回避理論 - 」へのコメント」国際ビジネス研究学会関東支部研究報告会(早稲田大学国際会議場 3階,第3会議室),2006年 4月14日.
- (ワーキング・ペーパー,共著)「ものづくりクラスターの特殊性と普遍性 グローバリゼーションと知的高度化」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパーシリーズ』No.16,2006年 4月14日.
- (書評)「小島清『雁行型経済発展論(第1巻) 日本経済・アジア経済・世界経済』『雁行型経済発展論(第2巻) アジアと世界の新秩序』」一橋大学経済研究所『経済研究』第57巻第3

号, pp.271-273.

- (論文, 共著) 「ものづくりクラスターの特殊性と普遍性 グローバリゼーションと知的高度化」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第2号, pp.73-98, 2006年7月.
- (ワーキング・ペーパー) 「要素技術のイノベーション 「失われた10年」に何が育まれたか」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパーシリーズ』No.18, 2006年7月31日.
- (取材記事) 「産業クラスターの国際比較で産学連携の新たな方向性を示す 産業クラスターの知的高度化とグローバリゼーション」日経BP企画『日経BPムック「変革する大学」シリーズ 法政大学 2006-2007』2006年9月6日.
- (国際シンポジウム・モデレーター) 「Global Platform for Innovation: India-US/Japan Business Alliances - From Outsourcing to Collaborative Research Partners - (「米国企業のインド活用と日印ビジネスの可能性」) 独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, The Indus Entrepreneurs (TiE) 共催 (法政大学ボワソナード・タワー26階, スカイホール), 2006年10月19日.
- (学会コメント) 「王淑珍 (北九州市立大学) 「半導体産業における生産システムの選択と産業発展との関連 世界半導体産業構造変化への対応からの考察」」国際ビジネス研究学会第13回全国大会 (早稲田大学国際会議場), 2006年11月4日.
- (資料) 「学部ゼミナールにおける経営学教育の方法と実践 工場見学・英語教育・論文作成とインターゼミナール (1)」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第3号, pp.23-45, 2006年10月.
- (国際会議・モデレーター) 「Professor Ian Gow, Pro-Vice-Chancellor (Asia) University of Nottingham UK, Provost University of Nottingham, Ningbo, China, "A New Phase of Internationalization of British University: How, and Why did I create Ningpo Campus of Nottingham University in China?"」日本産学フォーラム (パレスホテル「菊の間」), 2006年11月2日.
- (研究報告) 「イノベーション政策研究の現段階」JETRO 研究会 (日本貿易振興会会議室), 2006年12月20日.
- (ワーキング・ペーパー) 「『知的クラスター創成事業』コーディネーターへのアンケート調査 集計結果と回答の特徴」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパーシリーズ』No.28, 2007年3月2日.
- (資料) 「学部ゼミナールにおける経営学教育の方法と実践 工場見学・英語教育・論文作成とインターゼミナール (2)」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第4号, pp.117-128, 2007年1月.
- (論文, 共著) 「『知的クラスター創成事業』のなかの『とやま医薬バイオクラスター』 新結合の現場には誰が参画するのか」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『イノベーション・マネジメント』No.4, 2007年春.

#### 矢作敏行教授

- (著書) 『小売国際化プロセス - 理論とケースで考える』有斐閣, 2007年3月.
- (論文) 「知識ベースの小売国際化論に向けて」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第1号, 2006年4月.
- (論文) 「ウォルマート - 西友の知識移転プロセス」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第2号, 2006年7月.
- (インタビュー記録) 「最高峰論客が分析するイオンの底力 - グループにおける経営イノベーションの本質をみる」商業界『販売革新』2006年4月号.
- (インタビュー記録) 「アメリカ&アジア “世界プレーヤー” の真実 - 中国特化, カルフル “アジア



- の高等戦略” 商業界『販売革新』2006年 6月号。  
 (インタビュー記録)「国際競争力 - グローバル小売競争に日本企業は勝利できるか」商業界『販売革新』2007年 1月号。  
 (エッセイ)「視点 - 国際流通観の確立を」流通経済研究所『流通情報』No.451, 2007年 1月。

小 川 孔 輔 教授

- (対談)「中食マーケティング(ロックフィールド岩田社長)」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻870号, pp.36-40, 2006年 5月。  
 (コラム)「農産物の輸出 検証“ニッポンブランド” 花と鉢物 上」日本農業新聞 5月3日付, 2006年 5月  
 (コラム)「農産物の輸出 検証“ニッポンブランド” 花と鉢物 下」日本農業新聞 5月4日付, 2006年 5月。  
 (コラム)「農産物の輸出 検証“ニッポンブランド” 米と果実」日本農業新聞 5月5日付, 2006年 5月。  
 (コラム)「農産物の輸出 検証“ニッポンブランド” 食の知恵」日本農業新聞 5月9日付, 2006年 5月。  
 (コラム)「農産物の輸出 検証“ニッポンブランド” 知的所有権」日本農業新聞 5月10日付, 2006年 5月。  
 (論文)「中小企業のブランド戦略とは」三菱UFJリサーチ&コンサルティング『SQUET』通巻198号, pp.5-6, 2006年 6月。  
 (研究ノート)「農水省“ブランドニッポン・プロジェクト”の検証: 日本産農産物の輸出事業構想, 5年後の評価」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第2号, 2006年 7月。  
 (対談)「高収益SPAの秘密(ハニーズ江尻社長)」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻875号, pp.28-30, 2006年 7月。  
 (論文)「特集: 中小企業のブランド価値経営 なぜいま, 中小企業にとってブランド経営が重要なのか?」りそな総合研究所『りそな-れ』第4巻第9号, pp.8-11, 2006年 9月。  
 (論文)「中小企業・商店のためのブランド戦略」ダイヤモンド社『しんきん経営情報』第32巻第9号, pp.4-9, 2006年 9月。  
 (コラム)「マーケティング・フィールドノート 第1回: スウェーデン生まれの小売業H&M」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻878号, p.142, 2006年 9月。  
 (コラム)「マーケティング・フィールドノート 第2回: 中国人消費者は日本ブランドがきれい?」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻880号, p.118, 2006年10月。  
 (コラム)「マーケティング・フィールドノート 第3回: イング青井正人社長との対話」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻882号, p.126, 2006年11月。  
 (コラム)「マーケティング・フィールドノート 第4回: バンコク伊勢丹6F 東北3市の特産品販売キャンペーン」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻884号, p.134, 2006年12月。  
 (論文)「需要が伸びる有機農産物市場の変化」農林水産長期金融協会『公庫月報』第647号, pp.3-6, 2007年 1月。  
 (コラム)「マーケティング・フィールドノート 第5回: NATURAL KITCHEN 生活雑貨の100円ショップ」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻885号, p.206, 2007年 1月。  
 (コラム)「マーケティング・フィールドノート 第6回: タイ人消費者のコンビニ生活」ダイアモン

ド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻887号, p.102, 2007年 2月.

- (事例研究)「SPF パーティカル・マーチャライジング 高付加価値・高品質商品開発への挑戦」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻887号, pp.28-47, 2007年 2月.
- (座談会)「顧客満足度経営確立の決め手はなにか」浜銀総合研究所『ベストパートナー』第19巻第2号, pp.4-17, 2007年 2月.
- (コラム)「マーケティング・フィールドノート 第7回:ハニーズ」ダイヤモンド・フリードマン社『チェーンストアエイジ』通巻889号, p.110, 2007年 3月.
- (講演)「花き市場と流通」食と花の世界フォーラム実行委員会『食と花の世界フォーラム にいがたプレ2006 報告集』pp.98-114, 2007年 3月.
- (編著)『有機農産物の流通とマーケティング』農山漁村文化協会, 2007年 3月.

田 中 洋 教授

- (著書, 共著)「マーカーの視点」(pp.72-100), 「対談」(pp.102-138), 幻冬舎『欲望解剖』2006年12月15日刊.
- (著書, 共編著)「マス・コミュニケーションと消費者行動」有斐閣『消費者・コミュニケーション戦略』(現代のマーケティング戦略) pp.29-55, 2006年 5月10日.
- (分担執筆)「グローバルブランド・マネジメント」同文館出版『グローバル・ビジネス戦略の革新』pp.67-88, 2007年 3月23日刊.
- (論文, 共著)「新興富裕層(ニューリッチ)の誕生 - お金持ちはどういう人でどういう消費をしているのか」異文化経営学会『異文化経営研究』第3号, pp.13-28, 2006年11月30日
- (論文)「ブランド価値の創造戦略」日本雑誌広告協会『雑誌広告ハンドブック 絆』pp.30-38, 2006年11月1日.
- (翻訳, 監訳)『世界最強CMOのマーケティング実学教室』(ブラッドフォード・C・カーク著, 山本瑛子訳)ダイヤモンド社, 2006年 8月25日.
- (翻訳, 共訳)「グローバル消費者行動」有斐閣『消費者・コミュニケーション戦略』(カロラス・ブラート著) pp.269-307, 2006年 5月10日.
- (研究ノート)「消費者行動論序説(4)3. 知識と認知」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第1号, pp.75-83, 2006年 4月.
- (研究ノート)「消費者行動論序説(5)4. ニーズと動機」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第2号, pp.149-158, 2006年 7月.
- (研究ノート)「消費者行動論序説(6)5. 態度と説得 その1」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第3号, pp.13-22, 2006年10月.
- (研究ノート)「消費者行動論序説(7)6. 態度と説得 その2 ~ マスコミュニケーションと消費者行動」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第4号, pp.85-89, 2007年 1月.
- (報告書, 共著)「ゴージャス消費の意味と形に関する理論的・経験的研究 - 豪華消費に関する日米比較調査 -」平成18年度 吉田秀雄記念事業財団助成研究成果報告書, 2007年 3月10日.
- (口頭発表)「現代ブランド管理戦略」Asia-Pacific Marketing Proprietors' Forum (アジア太平洋マーケティング経営者フォーラム)(北京大学光華管理学院主催) 2006年11月11日.
- (パネルディスカッション記録)「進化するクロスメディア広告」日本経済新聞創刊一三〇周年記念 NIKKEI NET 一〇周年記念セミナー『日経広告手帖』2006年 5月号, pp.8-11.
- (対談)「窓販マーケティングが市場を拓く」(株)クライテリア『Ma-Do (マ・ドウ)』pp.14-15.
- (座談会)「これからの消費の主役は誰か」社団法人経済企画協会(編集協力内閣府)『ESP』pp.5-21.
- (事例研究)「『使い捨てない』という新発想 ~ 充電電池エネルギーのブランディング~ (三洋電機株

- 式会社)、『NTT東日本 Business』2006年12月号, pp.39-42.
- (事例研究)「流通革新から一流銘柄を生む ~ 銘酒『久保田』の誕生(朝日酒造株式会社)、『NTT東日本 Business』No.682, 2007年 1月号, pp.35-39.
- (事例研究)「低価格小売業態を成功に導く ~ SHOP99のチャレンジ~」、『NTT東日本 Business』No.683, 2007年 2月 1日号, pp.34-37.
- (事例研究)「顧客視点で『あるべき姿』を追求する ~ 投資信託『グロソブ』のマーケティング」、『NTT東日本 Business』No.684, 2007年 3月 1日号, pp.33-36.
- (コラム)「たなか・ラ・コラム」第45回「欲求・ニーズ・ウォンツ」毎日新聞社広告局『SPACE』2006年 4月号, pp.10-11.
- (コラム)「たなか・ラ・コラム」第48回「社会人MBAは人生を変える」毎日新聞社広告局『SPACE』2006年 7月号, pp.10-11.
- (コラム)「たなか・ラ・コラム」第50回「普通の人のぜいたく消費とは」毎日新聞社広告局『SPACE』2006年10月号, pp.10-11.
- (コラム)「たなか・ラ・コラム」第51回「まちのブランディング」毎日新聞社広告局『SPACE』2006年11月号, pp.10-11.
- (コラム)「たなか・ラ・コラム」第52回「ブランド戦略 - 新しいステージ」毎日新聞社広告局『SPACE』2006年12月号, pp.10-11.
- (コラム)「たなか・ラ・コラム」第53回「ウェブ 2.0時代の広告」毎日新聞社広告局『SPACE』2007年 1・2月号, pp.10-11.
- (コラム)「たなか・ラ・コラム」第54回「企業ブランドの広告」毎日新聞社広告局『SPACE』2007年 3月号, pp.10-11.
- (インタビュー)「MCとブランドはどう関係するか」読売新聞社広告局『OJO』Vol.9, No.4/5, 2006年 7・8月号, pp.15-17.
- (その他)「教科書」(pp.13-17), 「様々な授業形態」(pp.9-10)『法政大学FDハンドブック』2007年 3月 1日.
- (エッセイ)「無題」慶応義塾大学村田研究会『雑創』Vol.17, p.16, 2007年 2月.
- (コメント)「南波智子さんがランキング 1位に選ばれるまで」ウーマン・オブ・ザ・イヤー選考座談会『日経ウーマン』2007年 1月号, pp.42-43.